

事務連絡
令和6年5月27日

一般財団法人
沖縄観光コンベンションビューロー 会長 殿

沖縄県文化観光スポーツ部
観光振興課受入推進班

北朝鮮による人工衛星打ち上げへの対応について

みだしのことについて、北朝鮮が人工衛星を打ち上げるとの発表がなされたところ
です。

つきましては、下記のとおり情報提供いたしますので、「沖縄県観光危機管理計画」
に基づき、関係団体へ周知して下さるようご協力をお願いいたします。

本件について、被害等が確認された場合は、速やかにご報告を頂きますようお願い
いたします。

今後も引き続き、必要な情報を提供してまいります。

記

1 経緯・現状

○発射が予想される日

令和6年5月27日（月）午前0:00～令和6年6月4日（火）午前0:00

2 関係団体への情報発信

○Jアラートに関するお知らせ（4点）

○災害時情報提供アプリ「Safety tips」概要資料 ※外国人観光客向け

3 観光客への情報発信

○上記2の資料に係る施設内等の掲示

連絡先：観光振興課 松川（TEL：098-866-2764）



ミサイルが飛んでくるときには
「Jアラート」が知らせてくれるよ!

- 外にあるスピーカーなどから、サイレンの音やメッセージが流れる
- 携帯電話やスマートフォンにメールが届く

もしもJアラートが流れたら…

やってみよう



外にいるときには
(学校に行く途中や公園で遊んでいるときなど)

強い風やかげらを避けるために建物の中に入ろう



すぐに建物の中や地下へ避難できないときには、
物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭を守ろう

やってみよう



建物の中にいるときには
(おうちの中や教室など)

窓ガラスが割れて、けがをすることもかもしれないから窓から離れよう



身を守る姿勢をとろう

学校にいるときには、先生のいう
ことをよく聞いて身を守ろう





弾道ミサイル 落下時の行動

国民保護
ポータルサイト



ミサイルが日本に落下する可能性がある場合、国は「Jアラート」を活用して防災行政無線で特別なサイレン音とメッセージを流すほか、緊急速報メール等による情報提供を行います。

Jアラート



【例】直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが、●時●分頃、●●県周辺に落下するものとみられます。直ちに避難してください。

もしメッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に
いる場合

近くの建物の中や地下に 避難する。

(注) できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになれば、それ以外の建物でも構いません。

建物が
ない場合

物陰に身を隠すか、 地面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合

窓から離れるか、 窓のない部屋に移動する。

近くに
ミサイル
落下!

●屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。

●屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

政府の最新情報は
こちらをチェック



首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
[@Kantei_Saigai](https://twitter.com/Kantei_Saigai)



Actions in case of missiles flying to Japan

It may take less than 10 minutes that missiles reach Japan after being launched. If missiles are about to hit Japan possibly, J-ALERT system provides emergency information through various devices such as sirens and emails.

1. Evacuate immediately.

2. Collect precise information immediately.

Follow official instruction and take action calmly.



J-ALERT Message 【Example】 *announced ONLY in Japanese

直（ただ）ちに避難（ひなん）。直ちに避難。直ちに建物（たてもの）の中（なか）、又（また）は地下（ちか）に避難して下（くだ）さい。ミサイルが、●時（じ）●分頃（ふんごろ）、●●県周辺（けんしゅうへん）に落下（らっか）するものとみられます。直ちに避難して下さい。

Evacuate immediately. Go into a building or underground nearby. A missile will possibly land in the area around XX Prefecture at around X:XX. Go inside immediately.

When you receive a message,

Stay calm and take action immediately.

Outside

Go into a nearby building or underground,

*a sturdy building if possible

such as underground shopping arcade and subway stations.

Can't find a building nearby?

Lie flat on the ground or take cover behind anything that might offer protection.

Inside

Stay inside well away from windows or stay in a windowless room.

A missile hit in nearby area?

Outside: Cover your nose and mouth with cloth. Evacuate from an impact area. Evacuate toward the windward side or into a sealed room
Inside: Stop a ventilator, close windows and seal cracks of a room.

Look in advance.

Civil Protection Portal Site (English)

http://www.kokuminhogo.go.jp/en/pc-index_e.html

弾道ミサイル攻撃を受けたとき 明暗を分けるのは避難行動

弾道ミサイルが着弾した場合、激しい爆風や破片などにより、身体へ大きな被害を受ける可能性があります。爆風や破片などから身を守るため、状況に応じた避難行動をとることが大切です！



※イメージ

屋外にいる場合

爆風や破片などを避ける

近くの建物の中
(できれば頑丈な建物)
または **地下へ**

もしも、近くに建物がない場合は

物陰に身を隠す
または
地面に伏せ頭部を守る

屋内にいる場合

爆風で割れた窓ガラスなどを避ける

窓から離れる
または
窓がない部屋へ

よくあるご意見と回答

Q1

Jアラートが流れた後に避難を始めても手遅れでしょうか？

A. 避難行動にかけられる時間は限られたものですが、それでも、近くの建物の中や地下へ避難する、物陰に身を隠すなど、わずかな時間でもできることはあります。

Q3

地面に伏せる、頭部を守る……。それで、ミサイル攻撃から身を守れるとは思えません

A. 横(水平)方向に広がる爆風や飛散する破片等に対して身体の衝突面を極力減らすことが重要なので、避難行動をとらない場合と比べれば被害を軽減できる可能性を高めることができます。

Q2

近所には、丈夫な建物も地下もなく、避難できるところがありません

A. 横(水平)方向に広がる爆風や飛散する破片等に対して身体の衝突面を極力減らすことが重要なので、木造住宅へ避難するだけでも、避難行動をとらない場合と比べて被害を軽減できる可能性が高まります。

Q4

避難したところで、弾道ミサイルが直撃したら何をやっても無意味では？

A. 弾道ミサイルによる被害の程度は、その威力などによりさまざまであり一概には言えませんが、地下への避難などの適切な避難行動をとることで、避難行動をとらない場合と比べて被害を軽減できる可能性を高めることができます。



国土交通省

観光庁

Press Release

Japan Tourism Agency Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

令和2年3月17日

観光庁

災害時情報提供アプリ「Safety tips」の対応言語を14か国語に拡大

観光庁では、訪日外国人に対して国内における緊急地震速報、津波警報、気象特別警報、避難勧告等をプッシュ型で通知できる災害時情報提供アプリ「Safety tips」を監修しています。

今般、総務省、消防庁、気象庁が防災・気象情報等に関する多言語辞書を14か国語に拡大したことを受け、これらの多言語辞書を活用し、「Safety tips」の対応言語を11か国語から14か国語に拡大し、より多くの国・地域から訪れる外国人に対して、災害時情報を多言語で発信できる仕組みを構築しました※。

観光庁では、今後も多言語による災害時の迅速かつ適切な情報提供に努めてまいります。

※本取組は、「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」（平成30年12月25日閣議決定）、
「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策の充実について」（令和元年6月18日閣議決定）及び、「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策（改訂）」（令和元年12月20日閣議決定）に位置づけられた取組です。

今回の機能向上内容（3月17日に新バージョン提供開始）

○新たに追加する言語

- ・従前の、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、日本語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タイ語、インドネシア語、タガログ語、ネパール語の11か国語に加え、新たに、クメール語、ビルマ語、モンゴル語を追加し、14か国語に対応します。

【お問い合わせ先】

観光庁 外客受入担当参事官室 担当：山口、前川、佐藤、松田

電話：03-5253-8111(内線 27906、27911)、直通 03-5253-8972 F A X：03-5253-8123

参考 外国人旅行者向け災害情報提供アプリ「Safety tips」に関する基本情報

- ・自然災害の多い日本において訪日外国人旅行者が安心して旅行できるよう、平成 26 年 10 月から提供を開始した観光庁監修の外国人旅行者向け災害時情報提供アプリ。
- ・日本国内における緊急地震速報、津波警報、気象特別警報等をプッシュ型で通知できる他、周囲の状況に照らした避難行動を示した対応フローチャートや周りの人から情報を取るためのコミュニケーションカード、災害時に必要な情報を収集できるリンク集等を提供。

■ 対応言語 14 か国語 15 言語

英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、日本語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タイ語、インドネシア語、タガログ語、ネパール語、クメール語、ビルマ語、モンゴル語

■ アプリ利用料：無料

■ プッシュ通知される情報

緊急地震速報、津波警報、気象特別警報、噴火速報、熱中症情報、弾道ミサイル発射等の国民保護情報、避難勧告等



■ ダウンロードURL

・ Android:

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.rcsc.safetyTips.android>

・ iPhone :

<https://itunes.apple.com/jp/app/safety-tips/id858357174?mt=8>

※下記QRコードもご活用ください。

For Android



For iPhone



※既に「Safety tips」をダウンロードしている場合はアップデート（※）が必要です。

（※バージョン「3.4.0」へのアップデートが必要となります。）

※本アプリは無料です。